

# 自分を好きになる

発行日 平成30年10月15日

## 第52回 新たな大峰祭 閉幕

挑戦とともに伝統を守る今年度の大峰祭。これまでの学校生活を振り返る場面も多く取り入れられ、生徒会を中心に、充実した日々を送っていただけました。

大峰祭を実施するにあたり、PTA 合唱、PTA バザー、西日本豪雨災害への募金等、様々な面で保護者の皆様にはご協力いただき、誠にありがとうございました。



美術班によるステージバック

### 大峰祭開祭式挨拶

### 全校の友と共に「新しいストーリーを作ろう」

先日9月15日に私の好きな安室奈美恵さんが歌手生活を引退しました。

安室奈美恵さんは1992年平成4年、中学2年の時、“SUPER MONKEY’S”としてデビューしましたが、その時は坂城中の新校舎建設中。

新校舎が完成した平成5年、1993年の大峰祭は校舎建設中でできなかった開校30周年記念事業の代わりに、新校舎竣工に合わせ開校32周年記念事業が行われた年です。その年の大峰祭テーマは「FRONTIER ALLIANCE」（開拓同盟）。新校舎の元、新たな坂中を開拓していく意気込みで実施されました。

また、元号が昭和から平成に変わった1989年、平成元年の大峰祭テーマは「As Our Legend」（私たちの伝説として）というものでした。当時は旧校舎でしたが、新しい時代の幕開けとして坂中の伝説を刻もうと取り組んだ大峰祭だったようです。

それから30年の時が流れ、今年は平成30年。来年5月には元号が変わることが決定しており、今年の大峰祭は平成最後の文化祭となります。

今ここに立つステージで 新しいストーリーが始まる  
 守るものがあるから 強くなれるの  
 今ここに立つステージで 新しいストーリーを作ろう  
 守るものがあるから 信じて行ける

安室奈美恵さんの「Finally」という曲がありますが、その曲に次のような一節があります。



今年の生徒会スローガン、大峰祭テーマは「ともに」。全校がともに力を合わせ、取り組んでいこうという願いが込められています。今年は、今週の火曜日には体育祭が行われ、大峰祭ウィークとして学習作品も展示されていますが、これから本番。変わらぬ絆で希望を胸に、このステージで新しいストーリーが始まります。

来年は新元号、新しい時代のスタートですが、この大峰祭を通して、全校の友と共に、新しい時代に向けて、坂城中の新しいストーリーを作り上げてくれることを願っています。

さあ、坂城中の新しいストーリーを作り上げましょう。

美術班の3年生



英語スピーチ



意見文



吹奏楽部



3年生の学年合唱「手紙」



## 大峰祭閉祭式挨拶

### 平成最後の大峰祭～新しいストーリーが始まる～

今週火曜日の体育祭で始まった今年の第52回大峰祭の幕が降りようとしています。この1週間の大峰祭は、皆さんの当日の活躍のみならず、今まで皆さんが大峰祭に向けて、準備、取り組みをしてきた成果が全て発揮された、すばらしい大峰祭となりました。

今年の大峰祭テーマは「ともに」～キセキアリ～でした。

今年の大峰祭は、キセキのような新しい試みがいくつかありました。

一つは体育祭を火曜日に実施し、1週間を大峰祭ウィークとして展示物も長い期間廊下に展示したこと。

また、発表も、各学年が大峰の時間に取り組んだ学習成果を発信するなどして、充実したものになりました。

大峰祭に向けての準備も「ともに」のテーマを踏まえ、各クラス、各委員会、そして全校の生徒が「ともに」取り組み、一人一人がお客さんではなく、全員が主役の大峰祭となりました。

「伝統」とは、毎年同じことを変えずに行うことではありません。先輩の想いを踏まえ、時代に応じて、工夫し、進化させてこそ、坂城中の伝統になっていくのです。

今年は平成最後の大峰祭。そして、来年は新しい年号の下で行われる大峰祭です。この時代の節目に今年の皆さんが作り上げた大峰祭は、新たなストーリーが始まる大峰祭となりました。それは、「守るものがあるから 強くなれる」「守るものがあるから 信じていける」からです。

きっとこの成果は、未来の後輩たちにつながり、受け継がれていくことでしょう。

人は、分かった喜び、できた喜び、認められた喜びから自信を持ち、自分を好きになり、そして次への意欲を生みだします。今年の大峰祭で、皆さん一人一人が、自分を好きになれた大峰祭であったと感じてもらえたら、最高です。

生徒会役員の皆さん、最上級生の3年生の皆さん、そして全校の皆さんの取組に感謝して、学校

長の話といたします。そしてこれからも全校一丸となって「ともに」坂中を飛躍させていきましょう。全校の皆さん、感動をありがとう。